



## 今後の合併問題と広域事業

「つくばみらい市からの合併に対する働きかけについての考えと、当市の今後について」 中村 安雄議員

	常住人口
常総市	63,154人
つくばみらい市	47,061人
取手市	106,999人
守谷市	63,856人

(平成26年4月1日現在)  
～各市町村HPより抜粋～

### 質問

土浦・つくば市の合併が話題になっているが、地域に与える影響は大変大きいものだと思う。そこにつくばみらい市、守谷市等が勉強会という形で参加しているようである。水戸市も広域合併に取り組んでいる。つくばみらい市長から合併について働きかけがあるが、つくばみらい市と守谷市がつくば・土浦の勉強会に参画しているということである。これを見逃してはならない。この時点で常総広域4市の中で議論していく必要がある。

### 答弁（企画部長）

と思う。広域と市町村の合併は重要な関係にあり、検討が必要と思うかどうか。

県内自治体の動向に注視し、一部事務組合の枠組みや諸制度等も視野に入れ、あらゆる方向から調査・研究していきたい。

### 質問

本来であれば、広域の事業と市町村という姿が一体的でなければならぬ。広域として考えれば中核市に値するほどの人口があり、検討する必要があるのではないか。

### 答弁（市長）

つくばみらい市長から合併の声掛けはあるが、非公式な形でのものである。つくば・土浦の合併問題は注目しているが、常総市が参画するところまではいっていない。ただ、常総広域全体として、一度議論しなければならぬと感じている。行政上の合併とは別の視点で、広域同士の合併も同時に考えていかなければならないと考える。また、市町村の適正規模も考えていく必要がある。さらには地方自治法改正に伴い、合併ではなく協定を結んで連合していくという発想も一つの考え方だと思う。



## 三妻小バス・汽車通学児童世帯の経済負担軽減を！

「小学校通学手段に対する今後の方針（三妻小学校の電車・バス通学児童への補助の要望に対する回答）」 金子 晃久議員

### 質問

以前も質問したが、三妻小学校は電車・バスを利用して通学している生徒が約130名おり、経済的負担を強いられている。その際、執行部からスクールバスの運行について検討したいとの答弁があった。前回の質問後、三妻小学校に通う児童の保護者から、公共交通機関利用通学児童への補助に対する要望書を市長に提出したが、その結果は。

### 答弁（教育部長）

学校の統廃合は当面行わないこととなったので、現時点ではスクールバス以外で負担軽減を図る方策を検討していきたい。

### 質問

義務教育の中で通学に負担を強いられるのはおかしい。きぬの里の通学バスができた経緯は。

### 答弁（都市建設部長）

きぬの里地区はUR都市機構による土地区画整理事業で、学校を建設する計画があったが、児童や用地の確保が困難になり、建設できなかったため、きぬの里地域促進バスとして運行を開

### 質問

その運営に不公平感がないように求める。では遠距離通学に対する補助を行っている自治体があるが、これをどう考えるか。

### 答弁（教育部長）

他の事例を参考に検討していきたい。

### 質問

文部科学省で定められている遠距離通学は4km以上であるが、佐倉市の事例のように考え方を緩和し、3km以上と定義するなどしたうえで、市全域に対する補助とすれば、三妻小学校だけの問題ではなくなるので、積極的に考えていきたい。



バスで通学する児童（三妻小）